

十条銀座商店街振興組合

東京都北区

<https://jujo-ginza.com/>



組合・商店街概要

発足年 1938年(昭和13年)

商店街全長 375m

組合員数 180店

出資金 一口：500円

商圏 1～1.3km

業種構成

※<令和2年11月時点の構成>

・青果	2店舗
・鮮魚	1店舗
・食肉	2店舗
・惣菜	7店舗
・その他食品	8店舗
・総合食料品	5店舗
・花き	2店舗
・非食品	136店

日常的な食品や生活用品が何でも揃う全蓋アーケードの商店街

[関東大震災をきっかけに、任意の商店街として始まる]

関東大震災で東京が大きく被害を受けた頃、この地で任意の商店会が組織されたことが当商店街の始まりである。その後、昭和13年東京十条銀座商店街商業組合が設立され、組合活動がスタートした。

昭和38年、十条銀座商店街振興組合に改組し、本格的な商店街活動が始まった。昭和52年全蓋式アーケードを設置、平成6年Jスタンプ事業を開始し、天候に左右されない楽しいお買い物を地域住民に提供している。組合員数は163店、食料品店等(花き店含む)は27店舗であるが非組合員を加えると34店舗となる。特に惣菜が充実しており、専門店だけでも8店舗存在する(注：店の数は令和2年11月時点のもの)。飲食店も多く、内外中「食」全てが便利な商店街である。衣料品や日用品も揃うため、広い客層が来街している。

【季節の定番売出しで年配者から子育てファミリーまで集客】

当商店街の魅力は季節の売出しである。春は「スプリングフェア」、ゴールデンウィークにはちびっこを対象とする「ハッピーフェスティバル」、夏には「十条サマーセール」、秋には「オータムフェア」そして年末は「ファイナルセール」を実施する。売出し開催期間に行われる人気イベントは次の4つになる。

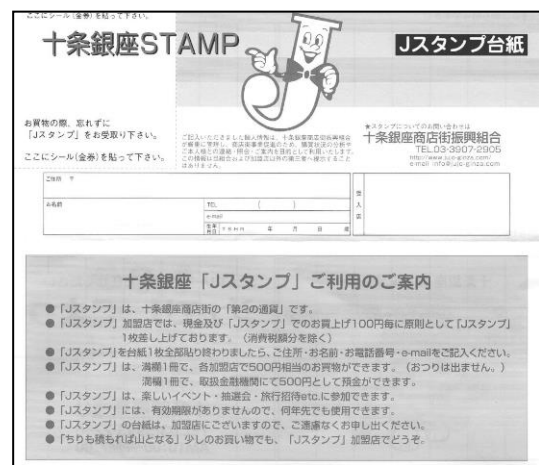
- ①チンドンパフォーマンス：毎回商店街を賑やかにしているのがチンドン屋。チンドンクラブに派遣を依頼し、1日3回のパフォーマンスを実施している。
- ②ショッピングラリー（ガラポンまたは三角くじ）：期間中に加盟店で500円以上のお買上レシートをチラシの台紙に貼る。5または6店舗分のレシートで抽選ができる。2,000円、1,000円、500円の商品券いずれかが当たる、ハズレなしの販促である。
- ③ちびっこ縁日（ゴールデンウィークのイベント）：ゴールデンウィークは子供を対象にイベントを行う。人気を集めているのは「ちびっこ縁日」。「金魚すくい」「スーパーボールすくい」「ラムネ」「焼きそば」「フランクフルト」「わたあめ」「焼き鳥」等を商店街役員と店主が担当して、子供たちを楽しませている。
- ④ハロウィーン仮装パレード：当日仮装パレードに参加する子供達150人を受け付け、お菓子をプレゼントする。ジャズバンドの演奏に合わせて、その150人が商店街をパレードする。商店街の役員等が審査員となり、パレード参加者から10名を選び特別賞を進呈する。特別賞は1万円の商品であり、親たちも真剣に仮装に協力している。

【台紙にシールを貼る伝統的スタンプ事業で買って集める楽しさ】

加盟店はシール1枚を2円で購入し、お買上100円ごとにシールを1枚進呈する。専用の台紙に336枚貼ると満貼となり、取扱金融機関で500円の預金ができる。満貼台紙の冊数に応じて常時交換できる商品やサービスを示す一方、イベント等と連動させて、満貼台紙をより楽しく利用できる販促を実行している。販促内容は季節ごとに発行する「Jスタンプニュース」を折込チラシにしてお客様に伝えている。参加店舗でも独自に倍出しやおまけ回収等を行い、自店の販売促進に利用している。



四季の販売促進（オータムフェア）チラシ



台紙にシールを貼って集める伝統的スタンプ

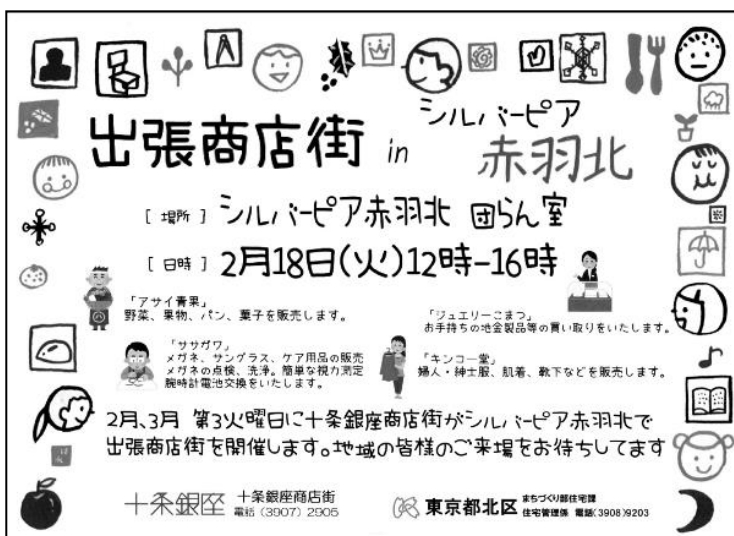
[北区役所と連携して買物不便地域への出張商店街]

北区役所と連携して実施したのが出張商店街である。2020年2月からの新たな事業である。北区の北赤羽地区は商店がほとんど存在しない買物難民地区となっている。北区の住宅課からの依頼を受けて、シルバーピア赤羽北の団らん室に十条銀座商店街として出張販売することとなった。食品は「アサイ青果」、宝石貴金属は「ジュエリーこまつ」、メガネや時計の電池交換は「ササガワ」、アパレルは「キンコー堂」の4店舗が出店した。商店街と同様に店を並べ、代金の精算は4店舗それぞれで行う仕組みである。2月開催後は新型コロナの為に休業しているが、今後は、決まった場所で定期的に開催し、地域住民が買物に集まってくる事業に育てる予定である。異業種の商店街だからこそできる活動である。

[来街者に休憩と買物情報と楽しさを提供するお休み処]

「休憩できる場所が欲しい」との長年にわたるお客様の声に応じて、2020年6月にやっと「お休み処」を実現することができた。八百屋が撤退した店舗を商店街として借り上げ、買物客が自由に使うことができる休憩所とした。商店街事務所は2階であり、階段しかないので高齢者や子供連れのお客様には不便をかけていた。「お休み処」は10坪。改装して机と椅子を設置している。壁面では販売促進イベント等のお知らせやお客様への連絡、小学生からの応援メッセージ等を掲示している。音大生による音楽コンサートを開催すると、「お休み処」だけでなく周辺にも多くの買物客が集まってくる。「お休み処」は休憩所であるとともに、商店街のイベント会場としての活用にも広がっている。

来街者を24時間見守りしているのは34台の防犯カメラである。街区全体に斜めに交互に設置されておりほぼ死角は無い。犯罪発生時には映像を警察に提供しており、高い検挙率にも貢献している。防犯カメラが設置されていることは街区にも表示されており、商店街利用者の安心感と犯罪防止に繋がっている。



出張商店街 in シルバーピア 赤羽北

[増所] シルバーピア赤羽北 団らん室

[日時] 2月18日(火)12時-16時

「アサイ青果」
野菜、果物、パン、菓子を販売します。

「ジュエリーこまつ」
お手持ちの地金製品等の買い取りをいたします。

「ササガワ」
メガネ、サングラス、ケア用品の販売
メガネの点検、洗浄、簡単な視力測定
腕時計電池交換をいたします。

「キンコー堂」
婦人・紳士服、肌着、靴下などを販売します。

2月、3月 第3火曜日に十条銀座商店街がシルバーピア赤羽北で出張商店街を開催します。地域の皆様のご来場をお待ちします

十条銀座 十条銀座商店街 電話 (3907) 2905

東京都北区 まちづくり居住地域 住居管理課 電話 3908 9203

区役所と連携して開催する出張商店のチラシ



お客様の長年の要望に応じて設置したお休み処

【組合のメリットを発揮する共同配送と段ボールのリサイクル】

異業種が集まっている商店街の特徴を生かして行われているのが共同配送である。青果店が隣接する鮮魚店と連携して学校給食への共同配送を行っている。青果店はほぼ毎日、近隣の学校給食に配達を行っている。隣の鮮魚店でも学校給食への納品がある場合は、青果店が鮮魚店の納品商品も一緒に配達する。

組合員全員がメリットを感じているのが不要段ボールのリサイクルである。組合員店舗は不要になった段ボールを組合事務所に持ってくる。組合では20箱ずつ束ねて倉庫で保管する。ほぼ一か月で倉庫が一杯になるので、毎月近隣小学校のPTAが約10人で引き取りに来る。PTAでは廃品回収にこの段ボールを出して活動資金を捻出する。加盟店は不要になった段ボールをいつでも片づけることができる。商店街にとっても地域のPTAにとってもありがたい活動となっている。

特に制度を作っているわけではないが、組合員に対して完売を奨励している。店舗によって閉店時間が異なるため一律にはならないが、閉店時間が近くなると店舗ごとに20%～50%オフのタイムセールを励行している。大正大学のゼミが授業の一環でロス調査を行った結果でも食品ロスがゼロであることが確認されている。

【社会福祉協議会と連携した車椅子貸出と子ども食堂】

商店街会館ホールが月1日子ども食堂になる。6年前からホールを子ども食堂に提供している。運営するのは町会役員や民生委員そして北区役所のOB等が参加しているボランティア。食材はボランティアのメンバーが持ち寄り、ホール奥の厨房で調理を行う。近隣の子供たちが楽しみにしている場所となっている。

北区の社会福祉協議会では身障者や高齢者への車椅子貸し出しを行っている。十条駅前再開発で貸し出し場所が離れた場所に移動したため、当商店街で貸し出しを行うことにした。社協からの2台、商店街理事からの寄付1台、合計3台の貸し出しを行っている。車椅子ステーションが設置されたことは組合報でも記載されており、買い物の途中で具合が悪くなったお客様への提供が始まっている。



共同配送を行っている八百屋さん魚屋さん

十条銀座 十条銀座組合報 No.126

NEWS 01 オートムフェアについて
NEWS 02 アーケード内側清掃について
NEWS 03 組合健康診断のお知らせ
NEWS 04 プレミアム付き北区共通商品券について
NEWS 05 車椅子ステーションの設置
NEWS 06 令和2年6月豪雨義援金について

車椅子ステーションを告知する組合向け会報

